

いのちの言の葉

「見つめよう いのち」

平成19年度 射水市立中太閤山小学校 5年

「いのち☆きらい☆を探せ！」

「世界移植者スポーツ大会(競泳競技)」金メダ
リストの太田友恵さんから話を聞かせていただ
いての子供たちの感想です。

太田友恵さんのプロフィール

- 1998年 原因不明の劇症肝炎を発病し、生体肝移植手術をうける
- 2001年 「世界移植者スポーツ神戸大会」(競泳競技) 金メダル2個・銀メダル1個
- 2003年 「世界移植者スポーツフランス大会」(競泳競技) 金メダル3個
- 2005年 「世界移植者スポーツカナダ・ロンドン大会」(競泳競技) 金メダル3個



太田さんは、苦しいことでも立ち向かって一生懸命がんばっていました。ぼくは、自分のために努力して、自分の心と体を成長できるようにがんばりたいです。苦しいことでも自分から立ち向かって、そして、喜べるようにがんばりたいです。

太田さんは、「つらいこと、苦しいことがあってもそれを乗り越えられる」「それを乗り越えなくっちゃ」という強さをもって毎日を生きていてすばらしいなと思いました。どれだけつらくても、自分で受け止めながらがんばっている姿がいいな。わたしは、できない、やりたくないということはすぐにあきらめてやめてしまいます。これからは、太田さんのように、つらくても、苦しくても、少しは我慢して、「やり遂げよう」「できなくてもできるまでがんばろう」と思います。

わたしは、太田さんの話を聞くまで、両親にあまり感謝の気持ちをもていなかったから、太田さんに感謝したいです。それに、どれだけ今の時間や家族が大切なのか改めて感じられました。今をもっと大切にして、家族にも温かい気持ちで接していきたいです。



手術成功後、水泳の先生になって、いろいろな人のために生きていったところがすごいなと思います。ぼくも、誰かのために生きていけたらいいなと思います。家族や友達のことを大切に生きていけたらいいな。